作成日：2026 年　9 月　20 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

膵癌切除後の早期再発危険因子とリスクスコアによる層別化

１．　研究の対象および研究対象期間

2014 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に昭和医科大学藤が丘病院消化器・一般外科で膵癌に対して手術を行った患者さん

２．　研究目的・方法

膵癌に対して膵切除を行なった患者さんを対象として，術後 1 年以内に早期再発を起こす患者さんの危険因子にはどのようなものがあるのかを検討し、これらの危険因子をいくつ持っているかによって再発するリスクをスコア化することができるか検討することを目的としています。

本研究は学術研究であり、昭和医科大学藤が丘病院で対象期間に手術を受けた患者さんの既存の診療情報を利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの診療録から以下の情報を収集します。研究対象者背景：年齢、性別、身長・体重、血液検査所見（術前腫瘍マーカー（CA19-9, CEA, Span-1, Dupan-2），HbA1c, ALB, T-cho, CRP, WBC,白血球分画, Hb, Hct, Plt）、膵腫瘍の局在、腫瘍径（化学療法前後)、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、ステージ、切除可能性分類、術前・術後化学療法の詳細、化学療法に伴う合併症、化学療法施行期間、化学療法に関連した副作用、手術関連因子（手術術式、麻酔時間、手術時間、出血量、輸血の有無と詳細、郭清リンパ節個数)、術後ドレーン排液中アミラーゼ濃度、膵液瘻の有無、合併症の有無と詳細、病理組織学的検査所見、転移リンパ節個数、再発の有無と詳細、再発時期、再発形式、再発に対する治療、転帰についての情報です。

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

６．研究組織

研究責任者：

昭和医科大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門　特命教授　松尾 憲一

藤が丘病院消化器・一般外科

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院消化器・一般外科　　担当者：松尾 憲一

住所：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151（内線 2173）（平日 8:30～17:00）